

絵にかいたようなお嬢様だが性格は唯我独尊の自己中
父親が世界的超大手企業の社長で経済界への影響力が強い
噂では国の裏機関とも繋がっていると

一人っ子で蝶よ花よと育ったせいで
誰に対しても尊大で非常に態度のでかい
クソワガママ女になった

特に嫌いな男はとことん社会的に抹殺しており
誰も彼女に歯向かうことはできなかった

ちよつと！

私の視線に入っていないで下さらない？

この世の者とは思えないあなたのおぞましさは
とても見るに耐えられませんもの

視界の隅に入ってくるだけで
吐き気がしますわ



はっ？チンポ生やしてやる…？

何かしら？
何か文句がおりあり？

わかつてますわよね
私にたてついたらどうなるか

なっ…!!
キッ

な、なななっ…!!
なんて汚らわしいっ…!!
破廉恥ですわッ！

わ、わかりましたわ…!!

あなたはもうこのまま生かしておけません！

不服そうなお顔…いい気味ですわ

それではごきげんよう
永遠にさようなら

あなたのことをお父様に報告しておきますので

あなたはもう二度と私の前に
姿を見ることができないでしょうね

…何をもうぞと…？
そ、それは…？

翌朝――

な……なんですの……これは……

お……おちんぽ……
だっ男性器が……
私の股間に……

ブル
ブル
ブル

どっどっ……どっどっすれば……!!
おはようございますお嬢様

あ……あり得ませんわ……
夢ですわ悪夢ですわ……!!

でっでも……
どう考えても……
現実……これが……

まっ……まあ!

お嬢様そのご立派なものは一体……?

い……いや……これはその……

起きたら生えてて……

な、何とかして……葵……!!

へえ……
左様でございますか

速水 葵

お嬢様のお世話を一人でこなす超有能メイド
○華からは信用されているがなんだか怪しい

ぴやいっ!?

承知しました

なぜ生えたのかはわかりませんが
そういうことでしたら
この葵にお任せを

さあお嬢様
どうぞ私に身をゆだねて…
楽な姿勢におなりください

あ…葵…一体何を…

今からこの硬く勃起した男性器を…
おちんちんを擦り射精に導いて差し上げます

しゃ…!!
射精…!?

な…なんだか怖いわ…

くすっ♡

ご安心くださいませお嬢様♡
お射精というのとはとても
気持ちが良いものなのですよ

男性を毛嫌いされているお嬢様なら
ご存じですよね?

男性が卑猥なことばかり考えているのは
女性の体を使った射精の快感が
とても強いからなのです

(…ゴクッ…)

さらにお射精して陰嚢に溜まった
精液を十分に吐き出すと
勃起が収まり小さくできるのです

射精すると…
小さくなるんですね…

ええその通りです
もしかしたら男性器を消すことが
できるかもしれません

なので今はただ私の与える快感に
身をゆだねてくださいましね

クッッ

グニッ

す…

ビキッ

その前に…さあお嬢様…
私の胸…おっぱいをご覧ください♡
とっても興奮しますでしょう？

あ…葵の…おっぱい…！
すっごくおっきい…綺麗…！

あら？
おちんちんがびくんと
反応しましたね♡

女の私が葵のおっぱいで興奮して…
おちんちん反応させるなんて…！

あらあら♡
何も恥ずかしがることはないのですよ

こんなにも立派なおちんちんを
葵に見せているではありませんか

そのままよいのです
それが自然なことなのです

女性の体に興奮した状態で男性器を擦られると
より一層気持ちよくなれますよ

これ…とってもドキドキしますわ…
何か…いけないコトしているみたいで…

わ…わかったわ葵…
早く済ませてちょうだい…！

そう…もう抜け出せないくらい…
二度と戻れないくらいの快感ですよ…

フフ…♡

承知しました♡
それでは早速始めさせていただきますね
初めての射精ですので、最初は刺激が強くて
びっくりされるかもしれませんが大丈夫です♡
すぐに気持ちよくなれますよ

イデッ ナデッ

くっくっ
くっくっ
くっくっ

ぎゅっ♡

びくっ♡
びくっ♡
びくっ♡

まずは優しく
す〜りす〜り…

あっ!?
ああっ!?

あつ葵ッ!
ちよ、ちよっと待ってッ!

あら? 軽く撫でただけなのに
ちよっと刺激が強かったかしら?
敏感なおちんちんですね♡

な、何ですのこの快感…!
刺激が強すぎますわっ!

凄くビクビクしちゃって…
そんなに気持ちが良いですか?
うふふっ♡

すり♡ すり♡

こっこんなの知らないですわッ
一回止めてッ
ストップストップッ!

止めてしまってもよろしいのですか?
せっかく気持ちよくなれてますのに

ぎゅっ♡

イデ

ナデ

あっ♡

あん♡

ひゃうっ!?

ちよっちよっ!

すり

すり

すり

すり

良いですよ…遠慮なさらず
葵に全部お任せくださいませ

優しく優しくおちんちんを擦り上げて
気持ちよくお漏らしさせて差し上げますからね♡

ひゅっ♡

♡♡♡♡♡

こんなめっ気持ち良すぎて…
こわい…怖いわッ！

あらあら…未知の快感が強烈すぎて
怖いのですか？不安なのですか？

そろそろだからっ
手を止めてッ！

大丈夫…大丈夫ですよ…
何も怖くはございません…

この葵がここで見ていますからね♡

何もご心配なさらず
いっぱい気持ちよくなってくださいませ♡

ほーら♡すりすりすり♡
しゃっ、しゃっ、しゃっ♡

うっ♡
あひーイッ！

うっ♡
あひーイッ！

あらあら…
そんなに身をこわばらせては
気持ちよくなれませんよ…？

それでしたら…
こうしましょう♡

くっ♡

ナデ

ナデ

すり
すり

すり

うっ♡

むっ
むぐっ!?

ほら♡
おっぱいですよ♡

むむむむむっ
ちゅぽっ

ちゅっちゅっ

そうです♡偉い子ですよ♡
無意識のうちにおっぱい
吸ってしまいますよね♡

どうぞ思うままに…
赤ん坊のようにおっぱいを舐めしゃぶり
吸ってくださいまし

とっても安心しますでしょう?
気のすむままに葉のおっぱいに甘え
緊張をほぐされてください

ちゅぽっちゅぽっ
レロレロレロレロ…

ちゅっちゅっちゅっ♡

あぁ…おっぱい吸うと…
とっても安心する…
まるで赤ちゃんになったみたい…

それになんか…
どんどんエッチな気持ちに…
♡♡♡

ほらほら…おっぱいを吸ったら
安心するだけじゃなくて…

♡♡♡
きゅ♡♡

むちゅっ!?

うふふっ
さっきより勃起しちゃいましたね
さあ緊張が解れたところで
もっと激しくしていきますよ



ほらほらっ
しゅっしゅっしゅっしゅっしゅっ♡

むちゅっ!
ちゅぶぶっ!

おちんちん気持ち良すぎます?
また切なくなっちゃいましたか?

ちゅばちゅばっ
(コクコクッ)

そうしたらおっぱいを吸って
ご安心なさいませ

ちゅうちゅっ
ちゅっちゅっちゅっ

ふふっ♡可愛いですわお嬢様♡
そんなに必死におっぱいを吸って…
まるで赤ん坊みたいです

これ…気持ち良すぎて…
おっぱいに癒されて…
何にも考えられなくなってきた…

ちゅうちゅっ
レロッレロッレロッ
ぶちゅっちゅっ

あぁ…もう興奮しちゃう…
エッチなことしか考えられない…!

うふふっ♡
だんだん考えがまとまらなくなって
思考も幼児退行されてきたようですね

そしたらおちんちんの快感に
集中して…

何かこみあげてきますでしょう?

あ…おちんちんが…
ムズムズしてきて…気持ちいい…

何か漏れちゃいます…

お射精怖くないですからね
私が傍にいますから

そうです
もうすぐ気持ち良いお射精ができますよ?

さあ…そろそろスパートかけていきますよ

は〜い♡
初射精♡

♡♡♡♡♡
イツ……〜〜ツ……！

♡♡♡♡♡
ぴゅーっ♡ぴゅーっ♡

♡♡♡♡♡
すごいすごい♡

♡♡♡♡♡
これが男性の射精の感覚ですよ♡
その御身にこの快楽を
しっかりと刻み込んでいきましょうねえ♡

♡♡♡♡♡
気持ち良すぎる〜〜ツ！

♡♡♡♡♡
こっ……これがッ射精ッ



.....♡♡♡♡♡

うふふっ♡
いっぱいお漏らしなさいましたね

いかがでしたか？
初めてのお射精の感覚は

女の身でありながら
男の射精の快感も体験できるなんて
とっても羨ましいですわ

.....♡♡♡♡♡

あら：気持ちよさのあまり
放心状態になっちゃいましたか

この快感を一度知ってしまったら：
もう戻ることはできませんね…

クス
クス

さあ：後始末は私に任せて
今はただこの快感の余韻に浸りましょう…

まだまだ…もっともっと私に甘えて…
“堕ちて”くださいませ…

これでこの子はもうこの快楽から逃れられないわね…

この機を逃す手はない…

このおちんぼ…たっぷり利用してあげるわ…

フフ…



さあお嬢様

お次は葵のおっぱいで
気持ちよくなりましょうね

トクッ

えっ？
そ…そんな…

いとき

お…おっぱいで何するつもり…？

いとき

うふふっ♡

もうお分かりのくせに…

思う存分しゃぶり舐め揉んだ
私めの豊満な乳房…

女性の象徴のこのおっぱいで
お嬢様のご立派な男性の象徴…
おちんちんを挟みこんで差し上げますわ♡

キッ

お…おっぱいで…
おちんちんを…！



あらあら♡
もうこんなにおちんちん
期待させちゃって

ちっ、ちが…

お嬢様ったら“オス”の素質が
おありのようですね

な、何言ってるんですの…!

ほら…私のおおきなおっぱい
よくご覧になってください

今からこのおっぱいが
おちんちん食べちゃいますよ

一度この快楽を味わったら…
もう戻れませんからね…

嫌ならご抵抗なさってください

お止めになるなら今しかないですよ…

ウフフッそんなにお固くなられて…

よろしいですか？よろしいですね？

あっ…ああ…ッ

それでは…

いただきます…♡

はーッ

はーッ

はーッ

はーッ

は〜い♡
ぱっくん♡

涎でぬるぬるにさせて…
フクフク…
レロ〜

うはあっ!
はああ…♡

あひやあっ…!!

ふあッ、はッ…、
あああ…っ

あはっ♡
おっぱいの中でピクピクっしてしますよ
いかがですか？私のおっぱいの感触は？

とっても柔らかくって
むにゅむにゅぬるぬるで…
この世のものとは思えない
快楽でしょう？

「パイズリ」と言うのですよ

ぱっ…パイズリ…

おっぱいをまるで性処理道具のように
扱ってズリこく…
とってもいやらしい響きで
興奮しますよね♡

それではおっぱい動かしていきますので
覚悟してくださいませ♡



う

はああっ…♡♡

せつかくのお美しいお顔が台無しですw

は、はひい…

こ、こんなの？…すごいっ…

お嬢様のおちんぽで好きなように
チンズりされてるんですよ

葵のおっぱいで

こんなことしちゃうなんて……

本当はこんなことイケナイんですよ……
おわかりですか？

“
:
!!

おっお父様には……
言わないで……ッ

お父様がご覧になったら
なんと仰るか：

ウフフっ
そうですねえ……

たぽろ

あ、♡

はひっ♡

そしたらもう少し
激しくしてみましようか

ひゃあつ
は、激しいっ！

もしお嬢様がいい子でしたら…
お射精我慢できますよね？

そっ！
そんなッ…
む…無理です…わッ…！

ほらほらあ

激しくしていきますよ？

こんなにビクビクさせちゃって♡

お射精出したいですか？
もう出ちゃいますか？

ほらほらっ♡ばんばんばんばんッ

あっ♡こんなのッ…
気持ち良すぎて…

イク…イク…

イクイク

イク
ビクビクビク

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

ニャッぽ

あっ♡
ほっ♡

あっ♡

はっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡



あああ
あああ
!!

はっ
うっ!!

うっ
うっ
うっ

うっ
うっ
うっ

うっ
うっ
うっ

■■■■
■■■■
■■■■
■■■■

…ッ…
なっ…なんで…っ…?

はっ…
疲れてしまいましたわ

腕もおっぱいもうパンパンです
今日はここまでにしておきましようか

そっそっ…そんなっ…

も…もうちょっと…
もうちょっとで
イケそうだったのに…!

はっ

や…やってッ
やりなさいッ

早くッ…続きをしないさいッ!
これは命令ですわッ!

あら?よいのですか?
このままお射精させても

ただでさえ疲れているメイドに
性的なことを無理やり強いて

お父様に内緒でお射精して
気持ちよくなりたいのですか?

とっ父様にも言っちゃダメッ

もうちょっとで出せそうなんですのッ
だから…!

……………
そうですか…

それでは…



お嬢様：毎月お小遣い結構貰ってますわよねえ？
それなら一回「一千万」ほどで手を打ちましょうか

いっ…!?
そ、それはいくら何でも高すぎますわ！

まさか…私にたかろうって
いうんですの…?

クスッ

たかろうだなんて
人間きの悪いお言葉

私はただ相応の報酬を
いただきたいだけですわ♡

こんな豊満な胸でこのような
破廉恥なことをするなんて
そこいらの風俗でも早々でできませんわよ

ましてお父様にも秘密にし…体力を使わせて
いやらしいことをして差し上げるのに
妥当なのではないですか？

…ッ
そ、そんなこと…

うう…出したい…!
イきたい…!

お金は…確かにある…

でも一回で一千万は…
流石に高すぎますわ…!



ほらほらっ
ばふばふばふ♡

う、ひゃあうっ♡

で、**出**りゆうつ

そんなにお悩みなのですたら
もうちょっと頑張って差し上げますわ

どうですか？
このまま出して
しまいそうですかあ？

で、出るッ
やっと出せるッ

もう出るッ
出すッ
出しますッ

葵のおっぱいに
私のくっさいザーメン
ぶちまけてやりまっすっ

あぁっ…でっ…
いっ…イクイクうっ!!

あ、♡

あゝ



あら？イキそうでした？

ごめんなさいお嬢様くもうへとへとですわ

…♡♡♡

おっ…おほ…♡

うあ…おちんぽもう限界…

もうちょっと…あとひとりで出せるのに…

ここで止めてしまいたいのですが

やつ…止めないで…お願い…

続けてほしかったら…わかりますよね？

このむにゆむにゆしたおっぱいで射精したら…

とっても

とろとろっても

気持ちいいですよ？

ダメ…だけど…

もう…もうちょっとだから…

お金…出せば…

このおっぱいで

葵のパイヌリで

気持ちよく射精できる…！

ダメなのに…ダメだけど…！

おほ…

おっ…

おっ…

わ…わかったわ…

ン？なんですか？

お…お金払いますからッ…
だから続き…して…

何の続きですか？

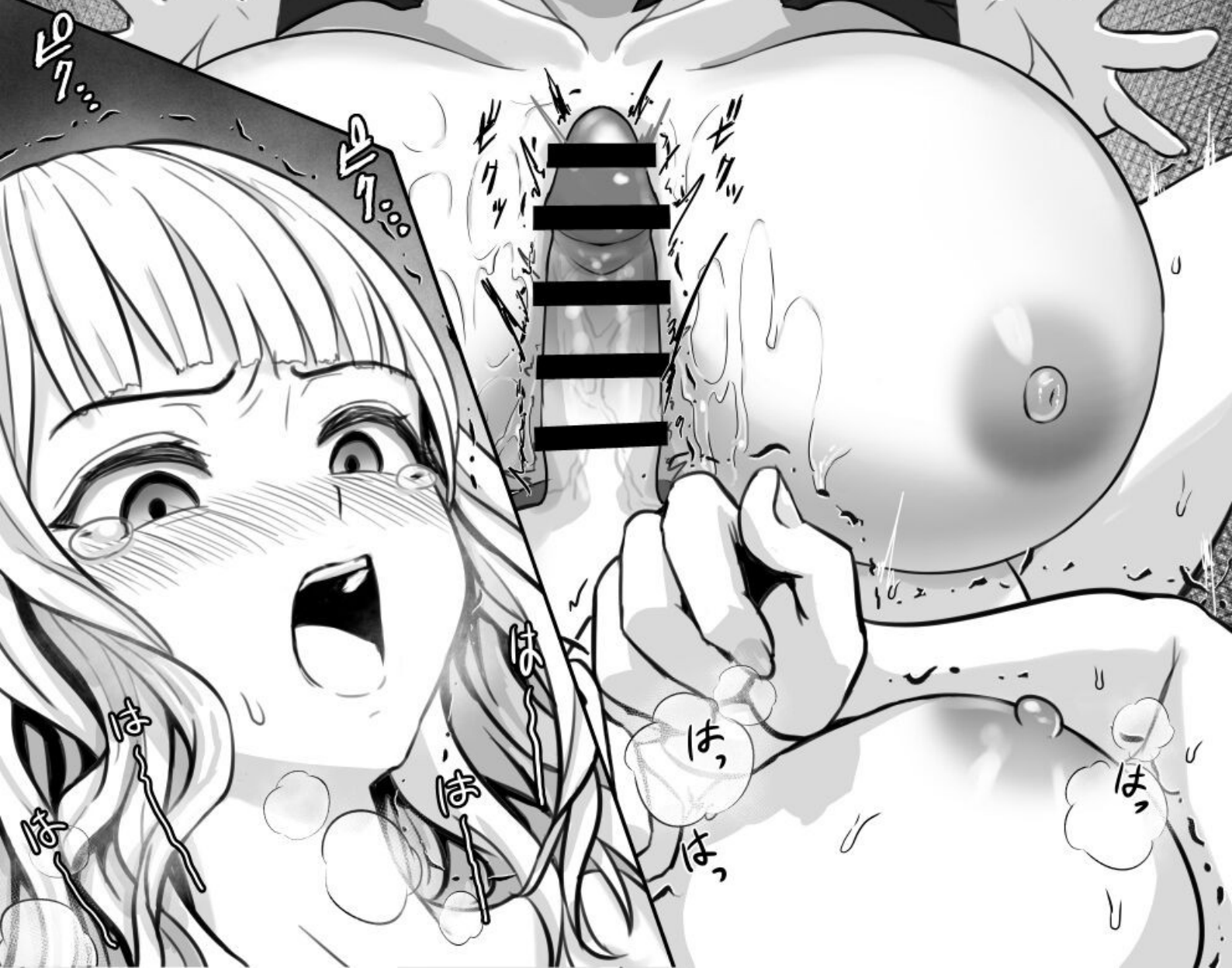
く…くッ！

おっお金あげるからッ
パイズリの続きしてッ
おちんぽ気持ちよく射精させてッ…！！

いっ
言っちゃった…！！

うっふふふっ♡
は…♡よく言えましたわお嬢様♡

それではたっぷり我慢させちゃった可哀想なおちんぽさん
い…いッぱい気持ちよくして差し上げますね♡



ほらっほらっ♡
むにゅっむにゅっ♡

いっぱい我慢して
辛かったですよねっ

あっあああっ
すぶっすぶっ

すぐに一気に
出させてあげますからねっ

ほらほらほらっ

葵のにゅるにゅるおっぱいで

残酷なほど気持ちいい快楽を

お嬢様のおちんぽに覚え込ませて

射精させますッ

グッ
グッ
グッ

だっ出る出る♡
だっ出る出る♡
だっ出る出る♡

♡
♡
♡

うっうっほおっ♡

やっやっ

やっやっ

チカッ

チカッ

でりゅっ

出る出る



はっはっはっ♡

んーおあそ

いっひゃー！

あっはははっ♡

すっごい♡



うふふっいっぱい出せましたね♡

たくさん我慢した分気持ち良かったですか？

あ…はあ…♡

でもまだですよ？

私の快楽はこんなものじゃないですわ

もっともっと続けていきますからね



はあ♡

はっ♡

ほらほらほらほら

まだまだ終わりにゃないですよ

ダメですっ♡
止めませんかね？

せっかくの一千万の
パイズリなんですよ？

ふぉおっ!!?
い、今いったばかりでっ…

徹底的に私のパイズリの感触を
おちんぽに覚え込ませて…

私のパイズリでないと
イケない体にしてあげますわ♡

さあお嬢様♡
このまま果ててしまってくださいっ

身分の低いメイドにお金を貢いでっ
破滅に向かうパイズリ堪能してっ!!

私のおっぱいに負けてっ
気持ちよくお射精しなさいっ!



ちよっ
まっ

また、

はい♡
トドメ♡

トドメ♡



あっはは♡

すごい沢山だせましたねえ
ご立派でしたよお嬢様♡

あっ…

は…

また意識飛んじやいました？

いっぱい我慢して連続で射精して
疲れちゃいましたよね？

いいですよ♡
今は葵のおっぱいの余韻に浸りながら
ゆっくりお休みください♡



私のパイズリの味…
しっかり覚えさせたわ…

これまで何人もの男を虜にしてきた
このパイズリを知ったら…

もうお嬢様もこれなしじゃ

お射精出来なくなってしまうたことでしょうね

この子はこれからどんなに射精したくても
私にお金を貢がない限り射精できないわ♡

また次の射精が楽しみね…

うっふふ♡

あはははっ♡

おやすみなさいませ

お嬢様♡

速水 葵

過去には多くの権力者の男を自身のパイズリで誘惑し
射精障害にさせ大金を巻き上げてきた

英○華の父親にもその毒牙を向けようとしたが隙を見せず
メイドとして働きながら常に機会をうかがっていたが
○華にチンポが生えたことで思いがけず好機が来た



恨みを買って突然ふたなりにされてしまった富豪の娘 英 ○華

怪しいが超有能なメイドの葵に性欲処理を依頼してからというもの、葵のパイズリでしか射精できない射精障害になってしまった

まずいですわ…

いつの間にか貯金の残額がすっからかん…

いままで使いきれないほどお小遣いを貰って何億も貯めていましたのに…こんなに早く…

貯金額

¥20,817

カク…

ギン
ギン

やっぱり高すぎる…

毎回葵に射精をお願いしたら私の貯金なんてあっという間に無くなってしまいますわ…

…そうはいっても射精をすればするほど興奮して…

勃起を抑えようとしても自分の意思と無関係に女体に反応するようになって…

もっと…
強く快楽を求めてしまう…

もはやこの性欲は制御不能ですわ…

男っていうのは何から何まで厄介ですわね…

しかもよりによって…なぜか葵のバイズリでしか
いくことができないのが困りものですわ…

はぁ

ゼリ
ゼリ

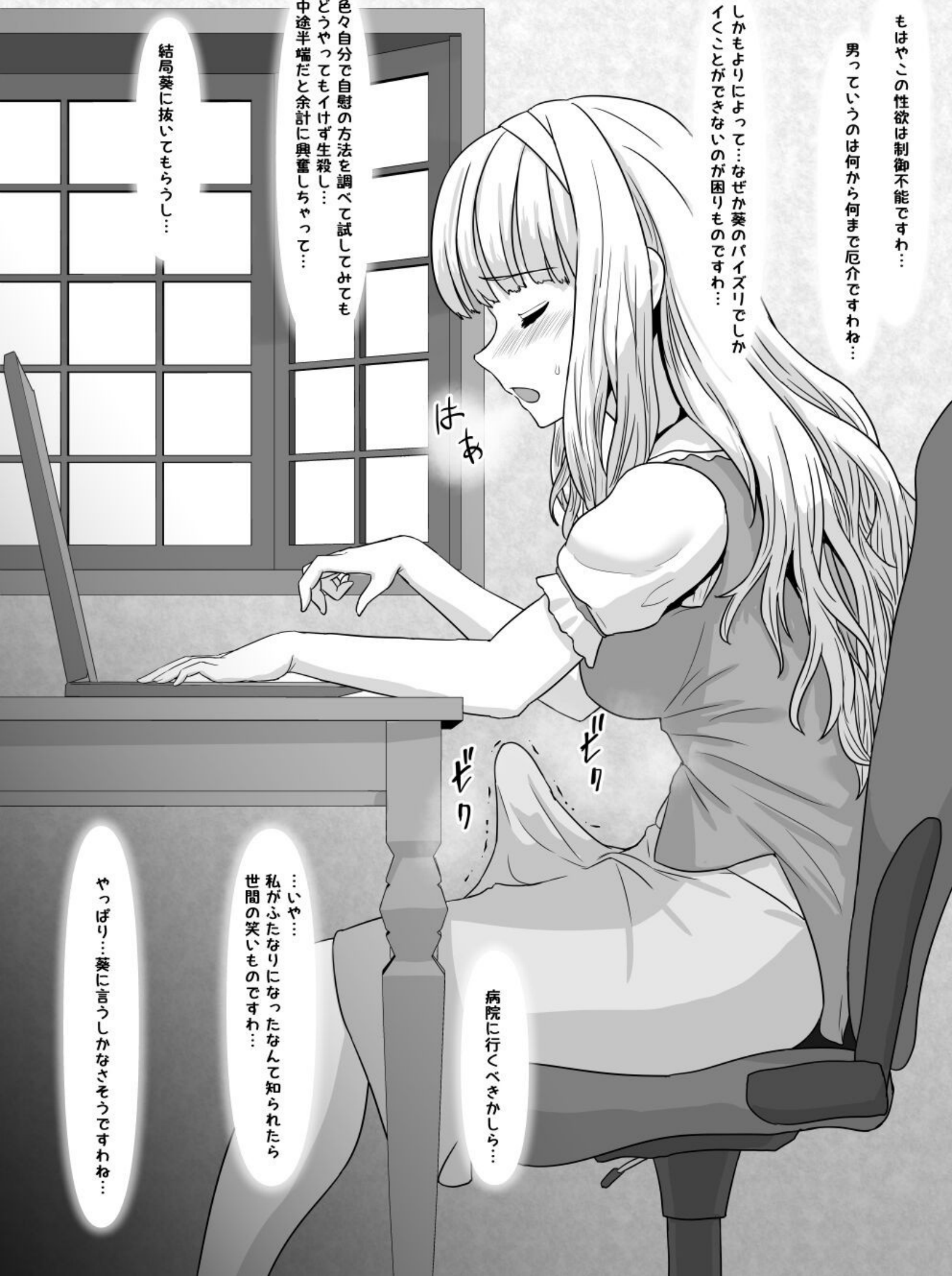
病院に行くべきかしら…

…いや…
私がふたなりになったなんて知られたら
世間の笑いものですわ…

やっぱり…葵に言うしかなさそうですわね…

結局葵に抜いてもらうし…

色々自分で自慰の方法を調べて試してみても
どうやってもイけず生殺し…
中途半端だと余計に興奮しちゃって…



葵…ちょっといいかしら

はいなんでしょうか

またお射精
なされたいのですか？

うっ…

そ、それは…その通りですわ…
でも…あの…その…

でしたらまた1千万いただければ
いつでもいたしますわ

そ、そのことで…ちょっと
最近貯金が…アレで…

射精できないと辛いし…
もう十分払ったでしょ？
だから…

何をおっしゃりたいのですか？

ううう…

だ、だから…

性欲処理のお金を無くしてって
言ってるんですのっ

ダメです

即答ーっ！
ガッ

で、でももうお金がなくて…
次の小遣いまで1か月もあるし…
我慢ができそうにないですわ…！

…そんなにお辛いのですか？

…(コクッ)

…なるほど…それなら…

！お、お金無しにしてくれるんですのっ！？

えっ…

な、なんですのそれは…

お嬢様の夢を叶える
いいお薬ですわ

使い方を誤らなければ、の話ですが

(…見るからに…危険な薬だけど…)

…そ、それで一体何を…

ニヤッ

スッ

このお薬をお父様に
飲ませてください

…えっ!?

大丈夫ですよお嬢様

少量であれば(重篤な後遺症が残るくらいで)
さほど問題ではありません

それに私の言う通りにすれば…
お嬢様が欲しかったお金も…葵の体も…
すべてが手に入りますよ♡

(私がやったらアシがついてしまいますからね)

フッ

わ、私はそんなこと
しませんわっ！

お母様がなくなられてから
ずっと大切に育ててくれた…

唯一信頼できる男性で…
私の大切なひとり親なんですのよっ

そうですね…
失礼しました…

あまりにお嬢様が
お辛そうにされてたのでつい

ではこのお話はなかったということで

とっ当然ですわ！

大切な父親に
そんな危なげな薬を飲ませようだなんて…

まあこれでお嬢様の性欲も
発散させてあげられくなりますね…
残念ですが…

…うつ…

どうなされたのです？
お嬢様

いいや…

フッフ

お嬢様…

本当はすぐにでも
お射精なさりたいのでは
ないですか？

(ドキッ)

次のお小遣い予定まではまだだいぶ日がある…
それまでお射精できないのはお辛いですよ？

…おっ…

お金を溜めれば良いのでしょうか？！

射精なんてひと月くらい我慢できますわっ！
そ、それに射精する方法なんて他にも…！

なるほど…
方法があると…

ううう…
と、とにかく！

これで失礼しますわっ！

ええそれではまた
もしお心変わりされたら
いつでもどうぞ♡

そして数日後――

あらお嬢様
お風呂ですか？

ムム

ムム

脱衣入浴
お手伝いいたしますよ！

あゝ…
け、結構ですわ

最近お嬢様お風呂お一人よねゝ
今までさんざん我儘言ってたのに

あとなんか股間のところ
膨らんでなかった？

えゝやらしく目で見てゝ
何かもの入れてるだけでしょゝ

あ…危ない…！
ムキ

ムキ

まったく…

家の中を歩くのも
とっても気を使っ
てしまいますわ

ぬぎ

はあ

早く射精して
勃起を鎮めないとい…

カララ…

あらお嬢様
ご入浴ですか？

ホカ

ホカ

わあああっ！！

ちよ…葵…!?
なんなんで私専用の風呂に
いるんですの?!

今日は使用人用お風呂が点検で
使用できないからこちらを使うと
前にお伝えしたではありませんか(嘘)

それに今更おちんちん隠しても
意味ございませんよ
さんざん抜いてあげましたし

う…
チラ チラ
た…確かに…

やはり…
明らかに私の体に
興奮してる
あと二押しとこ
ところね



それから私は意図的に
何度も何度も自分の体を

いやらしい部位を
お嬢様に見せつけた

自らの意思で自由に性欲を
処理できなくなったお嬢様を

徹底的に誘惑し

追いつめて
追いつめて

その残る理性を
崩壊させてしまえば

あとは…





あら？私はパイズリするといっただけで
射精までして差し上げるとは言ってませんよ？



我慢 理性 できない





恥を知りなさいお嬢様！

ご自分が何をされたかわかりですか！

これは女性を侮辱する最低な行為です！

お嬢様だって女なのに…立派な犯罪なのですよ！

こんなことをして決して許されるものではありません！

もうお父様にすべてお話しします！

私もお暇をいただきますのでしっかり反省なさい！

お嬢様のことなんで大嫌いです！

…J…

だ…だって…

もう…耐えられなかった…我慢できなかつたんですの…

毎日毎日メイドの…葵のやらしい体を見て…

おちんちん勃起してるのに射精できなくて…

ガリン

もう…モヤモヤが抑えられなくて…

私…どうしちゃったんですの…

毎日毎日イライラして…辛くて苦しくて…
グスッ
もう私…ッ

どうすればいいのかわからないんですのぉっ…！
グスッ

ご…ごめんなさいいっ…
こんなこと葵にしか相談できなくて…
このままじゃ私…

欲求不満で壊れてしまいますわっ…！

お願いですから…私を助けてくださいましっ…！

お願いだから…

うっう

グスッ

お願いだから…



…お嬢様がしてしまったことは
決して許されるものではありません

ただお嬢様のお辛いお気持ちは
伝わりましたわ

私もお嬢様を
苦しめたくは
ないのです

お

ただ…
お金が足りなかったんです

お金さえあれば…私だっていくらでも
お嬢様を癒してあげられるのに…

だから…

お嬢様をお救いするには
どうしても手段が限られます

お嬢様もその苦しみから
解放されたいのでしたら

もう何も難しい
ことは考えず

私の言った通りにしましょう？

そしてその苦しみを私の中に吐き出し
存分に快楽に溺れましょう？

この私の一番大切なところで

いっぱい甘やかしてあげますから♡

どうしますか…？お嬢様…

この苦しみから…
解放される…

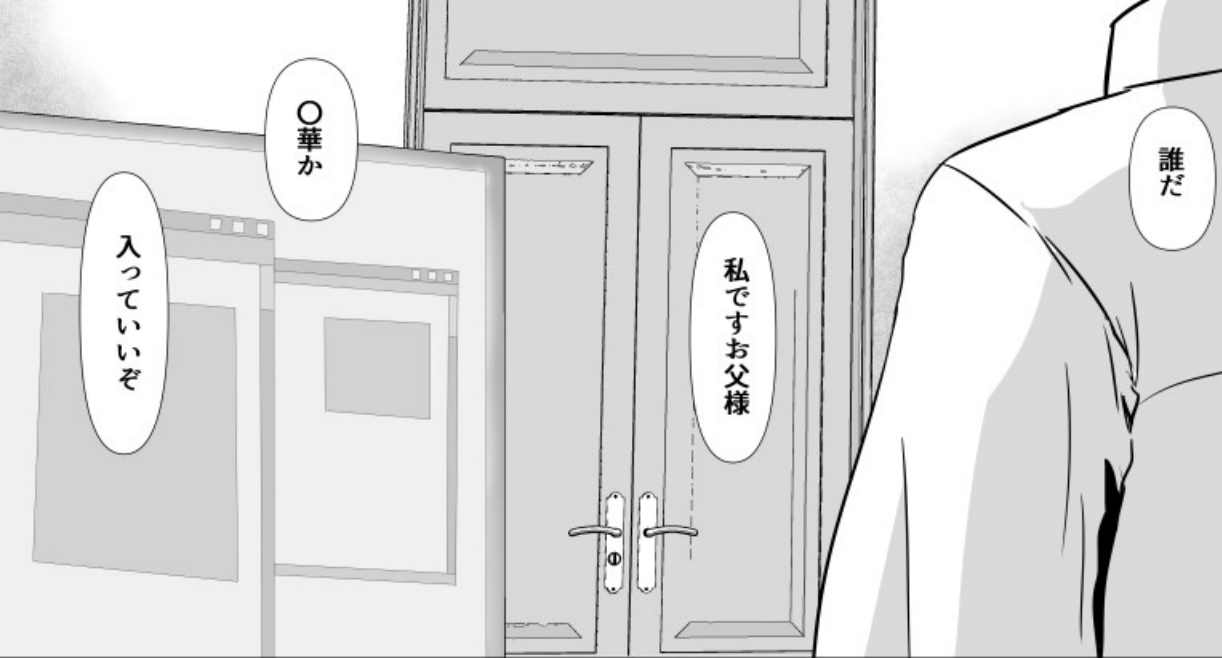
葵が傍にいてくれる…

葵の…

葵のおまんこで…

私は…

私は…



誰だ

私ですお父様

○華か

入っていいぞ



コン

コン



失礼しますわ

ギ
イ

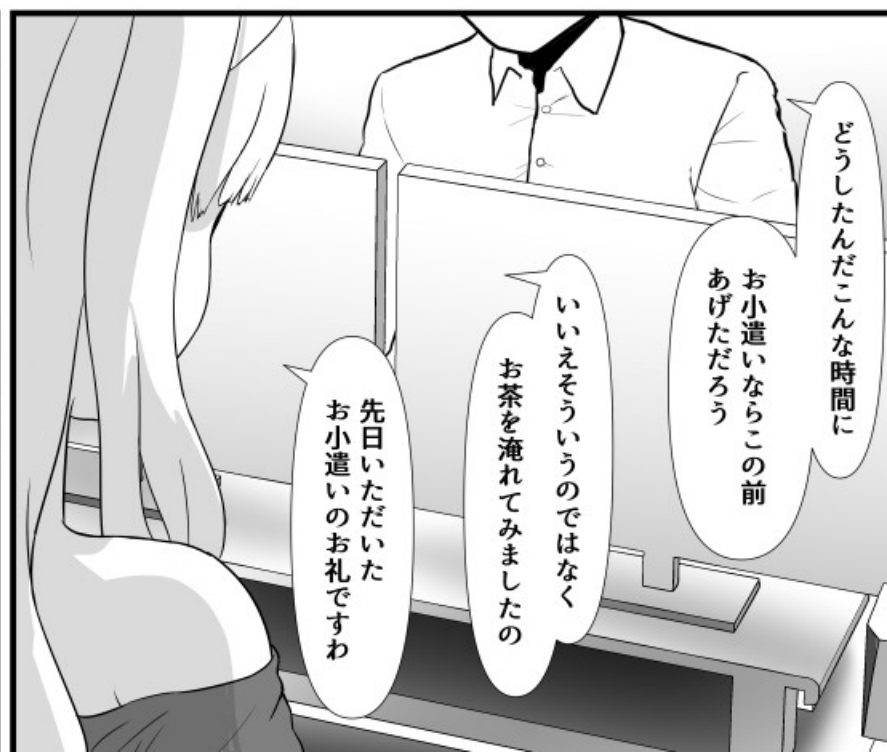


そうだったのか
助かるよ

オリジナルの
高級茶ですわ

どうぞお父様も
お召し上がり
くださいましね

コ
トツ

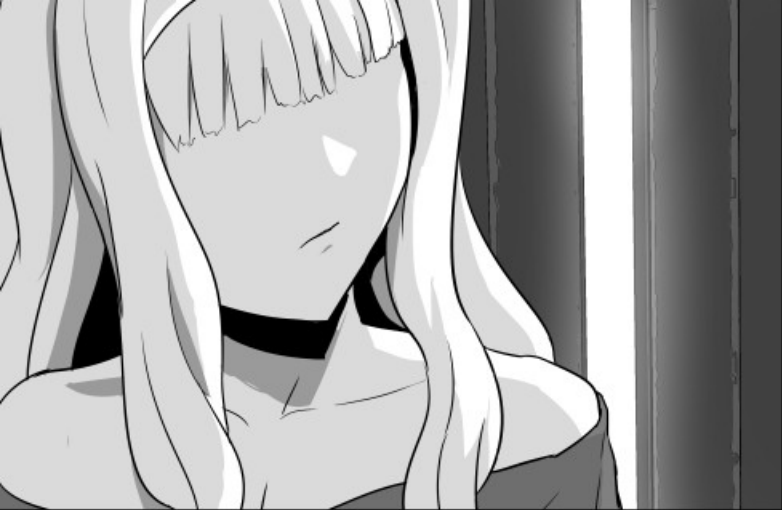


どうしたんだこんな時間に

お小遣いならこの前
あげただろう

いいえそういうのではなく
お茶を淹れてみましたの

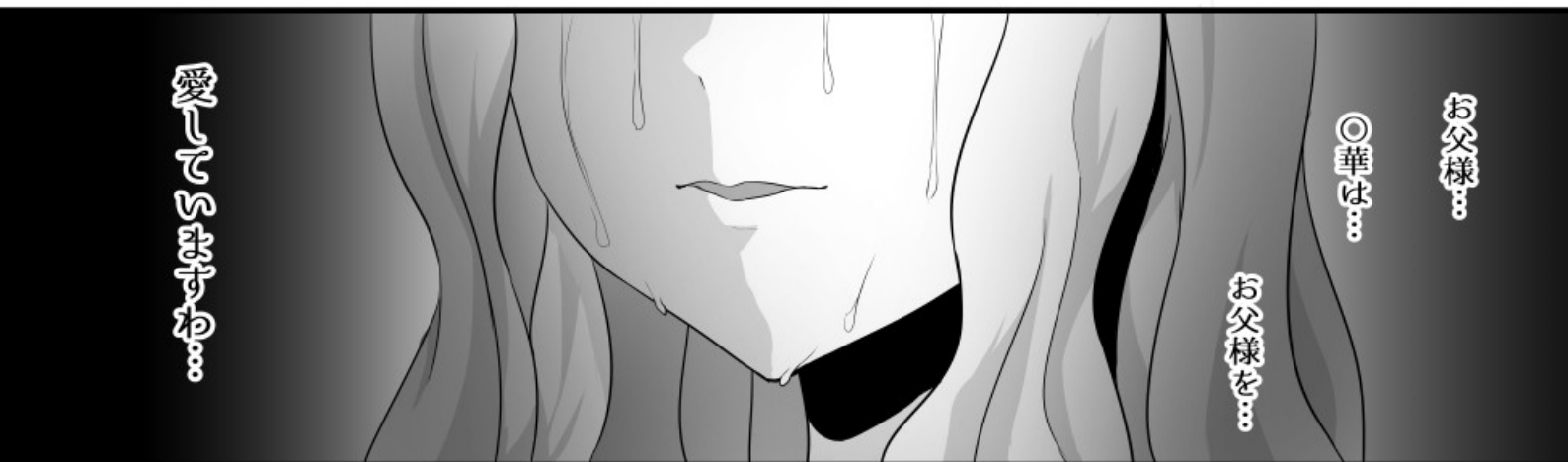
先日いただいた
お小遣いのお礼ですわ



それでは失礼しますわ
お父様

よいお休みを

ああ…
○華もな

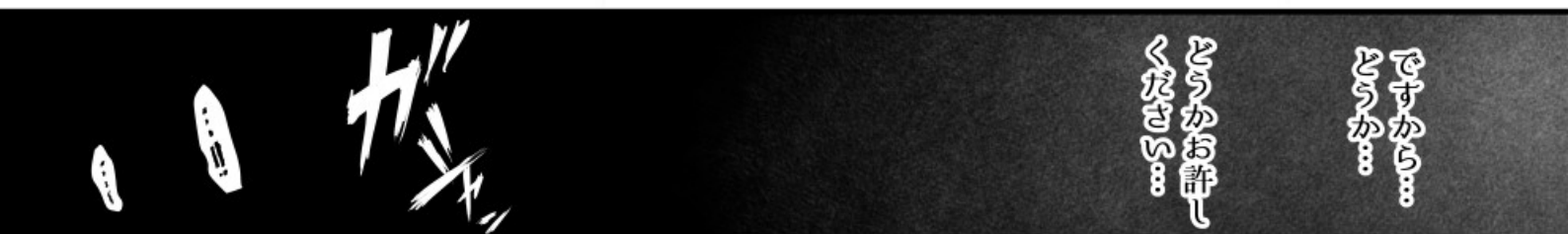


お父様…

○華は…

お父様を…

愛してますわ…



ですから…
どうか…

どうかお許し
ください…

ガッ



お疲れ様です
お嬢様

いえ…

社長



早くして……っ



先日のお父様のこと……ご愁傷様です
お父様が誤って業務用の薬品を
持ち帰って飲んでしまい

その事故で
あんなお姿に……

そしてそのまま事業は
お嬢様に継承され

その若さでこの大企業を
背負うことになってしまわれた

……心痛お察しますわ

……ですが……



……あ……

葵ッ

は……早く……ッ



これでお父様の相続金も
会社のお金も
すべてお嬢様のもの

何の気兼ねもなくいっぱい
楽しめますね？

お嬢様



お嬢様は私のいう通りに動いてくださいました

ご褒美を差し上げます

どうぞこちらへ



……かしこまりました



もう……いう通りにしたから……

早くエッチさせて……ッ



これからはもう
お父様の目を気にすることも
お金を気にする必要もございません

お嬢様は本当によく耐え頑張られました

あとは溜めに溜めたその劣情を
思う存分私の体に吐き出し...

もはや何の心配も無用です

快楽に溺れてしましましょう





あ...

葵っ!!!

あっ♡

葵の...お...おまんこっ

凄っ

はっ
はっ
はっ

葵っ♡

はっ
はっ

あっ♡

溜まってたからっ
すぐ出ちゃっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ
ぐっ

もっ出ちゃっ♡



入れたばかりで
もう射精してしまわれるのですか?

良いですよ♡

ついに童貞を
卒業されたのです

どうぞ葵のおまんこに

今まで溜め込んでいたものを

思う存分吐き出して

初めての中出し
キメてくださいっ

あっ葵っ♡

あおいっ

あおいっ

あうっ...♡

ぶるん

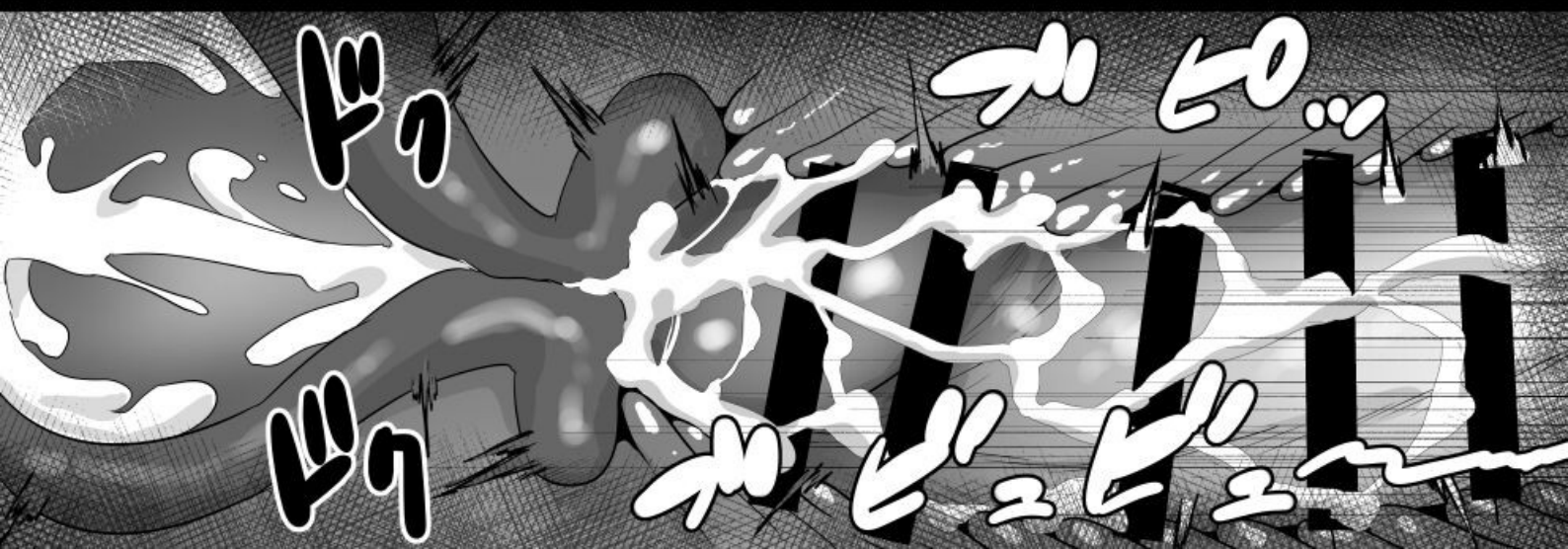
ぶるん

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

はっ
はっ
はっ





おっ...

おほッ...

あらあら

すごい顔
なってますね

いかがですか?
久々にお射精できた
ご感想は♡

至上の名器である
葵のおまんこで
童貞捨てられるなんて

これ以上の贅沢はございませんわよ?
(もっとも葵の膣内でしかイケなくなりますが笑)



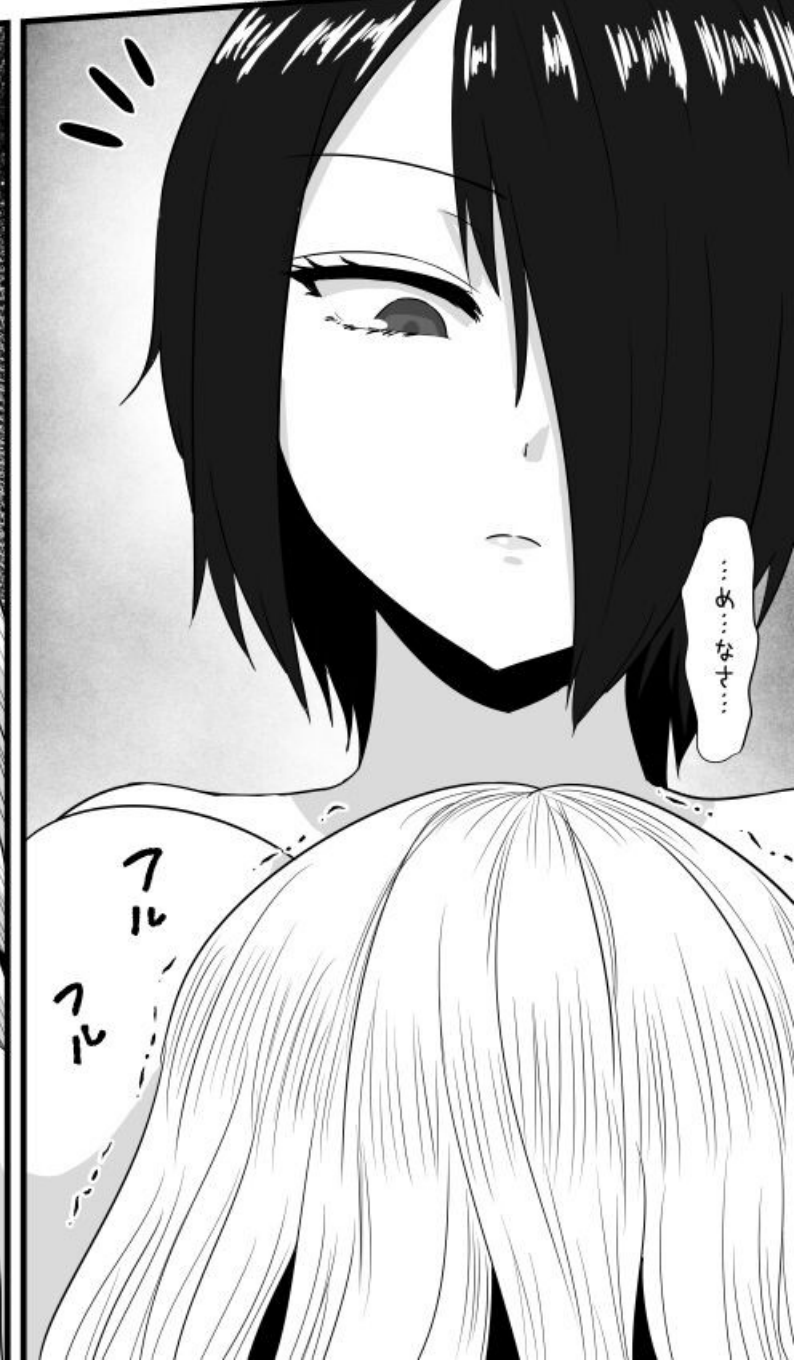
ごめんなさい...

ごめんなさい...

ぽ

お父様...

お父様...ッ



...め...なす...

フル
フル



可哀想にお嬢様



お嬢様が唯一敬愛していたお父様が
あのようなことになってしまわれて…

葵も同情いたしますわ



さらに社長としての重役も
お嬢様には相当なご負担になるはず

でもご安心ください

この葵が社長代理として
完璧にお仕事をこなしてみせます

はあ

はあ

…お嬢様は自らの欲を満たすために
お父様を手にかけてしまわれた…

その喪失感と罪悪感は
相当のものでしょうか

ですが…

悪いことをしたという自責の念は
興奮を更に昂らせるものです



だから今はすべてを忘れるため

その悲しさも

悩みも
苦しみも

すべて背徳感という
興奮に変えて

葵の膺内に吐き捨てれば良いのです

お嬢様は何にも考えずひたすらに
葵に甘えていれば良いのです

さあお嬢様

快樂の宴は始まったばかり

大切なものと引き換えに
やっと手に入れた

この背徳的な快樂を
楽しみましょう

そして…

堕ちましょう

お嬢様

う…

う…



うわあ
お父様

お父様っ

お父様っ

ごめんなさいっ

ごめんなさいっ

お父様あつ!!

お父様あつ!!



お父様ッ

お父様ッ

お父様ッ

お父様あつ



そうですっお嬢様っ

それでよいのですっ

お父様に自ら手をかけて
ようやく手に入れた

この背徳的な快楽に
哀れに溺れなさいっ♡

その罪悪感も
今までの苦痛も

全部全部
私の中に出しなさいっ

お父様に詫びながら

果ててしまいなさいッ!

ぬぼっ

にゅぽっ

にゅぽっ

にゅぽっ

きゅん

きゅん





素敵でしたわお嬢様

おっ...おっ...

おっ...

お疲れでしたら葵が癒して差し上げますので

休んだらまたいっぱいセックスしましょう



もうお嬢様は仕事のことも
お父様のことも何も考えず...

ひたすらこのふたなりの
快楽に溺れ、乱れ...

射精することしか脳のない
エロ猿になればよいのです

そしてあとのことは...
すべて私に任せてくださいませ

今はただ...射精後の心地よい
疲れに微睡んで
ゆっくりお休みくださいませ



そして目を覚ましたら...
また「束の間」の快楽を
楽しみましょうね？

お嬢様♡

これで...
すべて私の思い通りだわ！

うー...うー...

英 ○華
元大富豪の娘だったが
唯一の肉親の父親に
不幸があつてから
急速に没落した

父の企業は元メイドに
運営を乗っ取られ
また甘言に乗せられた
○華は用済みとなり
組織から追い出された

○華は無能な社会不適合者として
快楽に溺れレイプ魔になり下がる

しかし元メイドの肉体以外では
結局射精もできず

そしてすべてを失った